

2013年4月9日
サンケイリビング新聞社

女性のための地域生活情報紙

2013年4月、リビング新聞が 変わります

株式会社サンケイリビング新聞社（所在地：東京千代田区、代表取締役社長 内堀眞澄、以下弊社）が発行する、女性のための地域生活情報紙「リビング新聞」は、2013年4月、紙面を大きくリニューアルいたします。

また、都心部の人の流れの変化をにらみ、新たに東京の新しいエリア版「リビング東京副都心」を創刊します。

■大きな題字とインパクトあるビジュアル、地域に暮らす主婦のキモチに寄り添った記事が、ポストでも、リビングルームでも、存在感をアピールします

厳しい経済環境の中でも、地域に根ざし、家族を思い、家庭を支えながら、いきいきと暮らしたいと願う主婦の“根っこ”は変わりません。

新しいリビング新聞のデザインには、そんな主婦たちにきちんとした生活情報を、しっかりと伝えていきたいという願いを込めました。

シンプルで知的、フレッシュな題字と、ビジュアルを大きく使ったデザインで、存在感をアピール。さらに、特集面の本文書体を一回り大きく、読みやすく。思わず手に取り、ページをめくりたくなる気持ちを起こさせます。

■池袋、新宿、渋谷の三大商圈をカバー！「リビング東京副都心」を創刊します



「リビング東京副都心」（15万5000部）の主な配布エリアは、副都心線沿線の新宿区・渋谷区・豊島区。さらに新宿や渋谷、池袋に出かけやすい中野区・杉並区・練馬区にも配布を拡充。ここ数年の傾向である“都心回帰”で移り住んだ、都心部のマンションの住民にも対応していきます。

「リビング副都心」のメイン読者は、山の手エリアに長く住み、すでに子育てが終了した主婦層。娘世代、孫世代を巻き込んだ3世代のファミリー消費に注目し、グレードの高い地元・都心部の情報を届けます。

この他「リビング東京東」は江戸川区と江東区の配布を強化、15万5,000部に増部します。また「リビング東京西」は調布市、府中市にも配布地域を拡充。「リビング東京中央」は上記「リビング東京副都心」にリモデルします。

■東京都交通局との協働発行メディア「Ooedo LIVING（大江戸リビング）」は、紙質を向上して発行を拡大

「大江戸リビング」（15万部）は、サンケイリビング新聞社と東京都交通局が協働で発行。都心で暮らす・働く女性に向けて、駅や都営交通の施設に設置する交通メディアです。従来は季刊（年4回）でしたが、4月から年6回に発行を拡大。

さらに紙質を向上、デザインを一新するとともに、編集記事を増やし、閲覧性や保存性を高めます。

※都営地下鉄4路線・103駅と、都電荒川線営業所、都営バス営業所等にラック設置



■本件に関するお問い合わせ先

サンケイリビング新聞社 コーポレートコミュニケーション室 大田・杉山
Tel:03-5216-9222/Fax:03-5216-9248/E-mail:cc@sankeiliving.co.jp